

心理学 専攻 基礎心理学 コース（博士前期）

試験科目：専門科目（心理学）

試験時間：（120）分

## 問Ⅰ（解答のポイント）

「APA 心理学大辞典（培風館）」「心理学 新版（有斐閣）」など、心理学及び関連領域に関する各種辞典や専門書にあげられている、心理学の基本的（辞書的）定義が簡潔に述べられていること。

## 問Ⅱ（解答のポイント）

- (1) うつ病における認知行動療法について、基本的な治療の流れならびに具体的な技法への理解をふまえて、適切に説明することが求められる。
- (2) 指示された領域のいずれかを取り上げ、その領域における連携職種を具体的に記述することが1つ目のポイントとなる。さらに多職種連携において、守秘義務など情報共有の在り方をどのように考えるか、多職種とコミュニケーションを取る時に留意すること、多職種の業務を理解し自分の責任や限界を意識することなど、留意すべき点が適切に明確に書かれていることが2つ目のポイントとなる。

(3)

|       | 世界技法   | 箱庭療法                                 |
|-------|--|--------------------------------------|
| 学問的背景 | Lowenfeld, M.は精神分析を背景にもつ                         | Kalff, D. M.は分析心理学（ユング心理学）を背景にもつ     |
| 目的    | 言語表現が未熟な子どもたちが、砂箱という「世界」の中で自由に遊び、内面を表現できるようになること | 無意識のイメージや元型的なものを表現・具現化し、心の統合や治癒を促すもの |
| 使い方   | 診断的・表現することを重視                                    | 治療的側面を重視                             |
| 砂箱    | 1つ   | カルフは2つ（乾いた砂と湿った砂）を推奨                 |
| ミニチュア | 引き出しに収納  | オープンシェルフに収納                          |
| 対象    | 主として子ども  | 子どもから高齢者まで                           |

- (4) 精神分析的心理療法における解釈の種類や意義について理解していることが求められる。その上で、その臨床的意義について理解している内容を論理的に記述することが求められる。
- (5) 心理アセスメント、本人や関係者に対する心理支援、情報発信や教育・啓発活動、そして、研究活動といった公認心理師や臨床心理士の専門業務によって、スティグマ低減にどのような貢献ができるかが論じられている。
- (6) 家族療法における理論の一つであることを踏まえつつ、緊張状態にある二者関係が第三者を巻き込むことで成立する関係を取りあげた理論であることについて、適切に理解されていること。
- (7) サッチャー錯視などに代表される顔の倒立効果に関する代表的な知見について説明されており、大域・布置情報処理、局所・部分処理などについて論じられている。
- (8) 態度と行動に関する定義を把握しており、また合意的行為論、計画的行動理論など、態度と行動の関係について論じたモデルを正確に理解していること。
- (9) 2つのテストの特徴を理解しており、違いが対比的に複数あげて述べられていること。
- (10) グリア細胞（アストロサイト、オリゴデンドロサイト、ミクログリア）が神経細胞の単なる支持ではなく、脳の情報処理に積極的に関与することを説明することが求められる。各細胞の主要な役割を簡潔に示しつつ、脳の情報処理の理解には、神経細胞だけではなく、グリア細胞の機能を明かにすることが不可欠である点を述べることが期待される。

心理学 専攻 臨床心理学 コース（博士前期）

試験科目：専門科目（心理学）

試験時間：（120）分

## 問Ⅰ（解答のポイント）

「APA心理学大辞典（培風館）」「心理学 新版（有斐閣）」など、心理学及び関連領域に関する各種辞典や専門書にあげられている、心理学の基本的（辞書的）定義が簡潔に述べられていること。

## 問Ⅱ（解答のポイント）

- (1) うつ病における認知行動療法について、基本的な治療の流れならびに具体的な技法への理解をふまえて、適切に説明することが求められる。
- (2) 指示された領域のいずれかを取り上げ、その領域における連携職種を具体的に記述することが1つ目のポイントとなる。さらに多職種連携において、守秘義務など情報共有の在り方をどのように考えるか、多職種とコミュニケーションを取る時に留意すること、多職種の業務を理解し自分の責任や限界を意識することなど、留意すべき点が適切に明確に書かれていることが2つ目のポイントとなる。

(3)

|       | 世界技法   | 箱庭療法                                 |
|-------|--|--------------------------------------|
| 学問的背景 | Lowenfeld, M.は精神分析を背景にもつ                         | Kalff, D. M.は分析心理学（ユング心理学）を背景にもつ     |
| 目的    | 言語表現が未熟な子どもたちが、砂箱という「世界」の中で自由に遊び、内面を表現できるようになること | 無意識のイメージや元型的なものを表現・具現化し、心の統合や治癒を促すもの |
| 使い方   | 診断的・表現することを重視                                    | 治療的側面を重視                             |
| 砂箱    | 1つ   | カルフは2つ（乾いた砂と湿った砂）を推奨                 |
| ミニチュア | 引き出しに収納  | オープンシェルフに収納                          |
| 対象    | 主として子ども  | 子どもから高齢者まで                           |

- (4) 精神分析的心理療法における解釈の種類や意義について理解していることが求められる。その上で、その臨床的意義について理解している内容を論理的に記述することが求められる。
- (5) 心理アセスメント、本人や関係者に対する心理支援、情報発信や教育・啓発活動、そして、研究活動といった公認心理師や臨床心理士の専門業務によって、スティグマ低減にどのような貢献ができるかが論じられている。
- (6) 家族療法における理論の一つであることを踏まえつつ、緊張状態にある二者関係が第三者を巻き込むことで成立する関係を取りあげた理論であることについて、適切に理解されていること。
- (7) サッチャー錯視などに代表される顔の倒立効果に関する代表的な知見について説明されており、大域・布置情報処理、局所・部分処理などについて論じられている。
- (8) 態度と行動に関する定義を把握しており、また合意的行為論、計画的行動理論など、態度と行動の関係について論じたモデルを正確に理解していること。
- (9) 2つのテストの特徴を理解しており、違いが対比的に複数あげて述べられていること。
- (10) グリア細胞（アストロサイト、オリゴデンドロサイト、ミクログリア）が神経細胞の単なる支持ではなく、脳の情報処理に積極的に関与することを説明することが求められる。各細胞の主要な役割を簡潔に示しつつ、脳の情報処理の理解には、神経細胞だけではなく、グリア細胞の機能を明かにすることが不可欠である点を述べることが期待される。